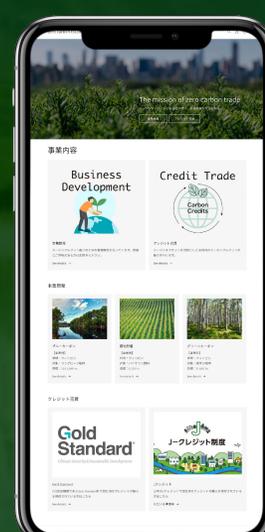


①方法論 手法の確定

② クレジット申請

③ クレジット登録

④ クレジット販売



シミュレーションで簡単に試算

書類アップロードを簡易化

クレジット販売を簡略化



GENEREN

プロジェクト概要



**「Agreen(アググリーン)」を活用し中四国地方の農家様
農業由来のカーボンプレジットの創出を実施**



**中四国地方内の企業様へクレジットを販売し
中四国地方内でオフセットを実施**

「Agreen(アグリーン)」概要

Agreenではまず水田(稲作)プロジェクトから



プロジェクト実施例(稲作コンソーシアム)

(11月時点)、約8,000haの水田農家さんが参画し
120社以上の企業/農業法人が参画。

参画企業/自治体
農業

※中四国地方内では、鳥取、島根、山口の農家様が参画。

J-クレジット創出に向けた稲作コンソーシアムの発足

カーボンプレジットを創出に向けたポイント

下記3つのテーマでカーボンプレジットを創出

水田

バイオ炭

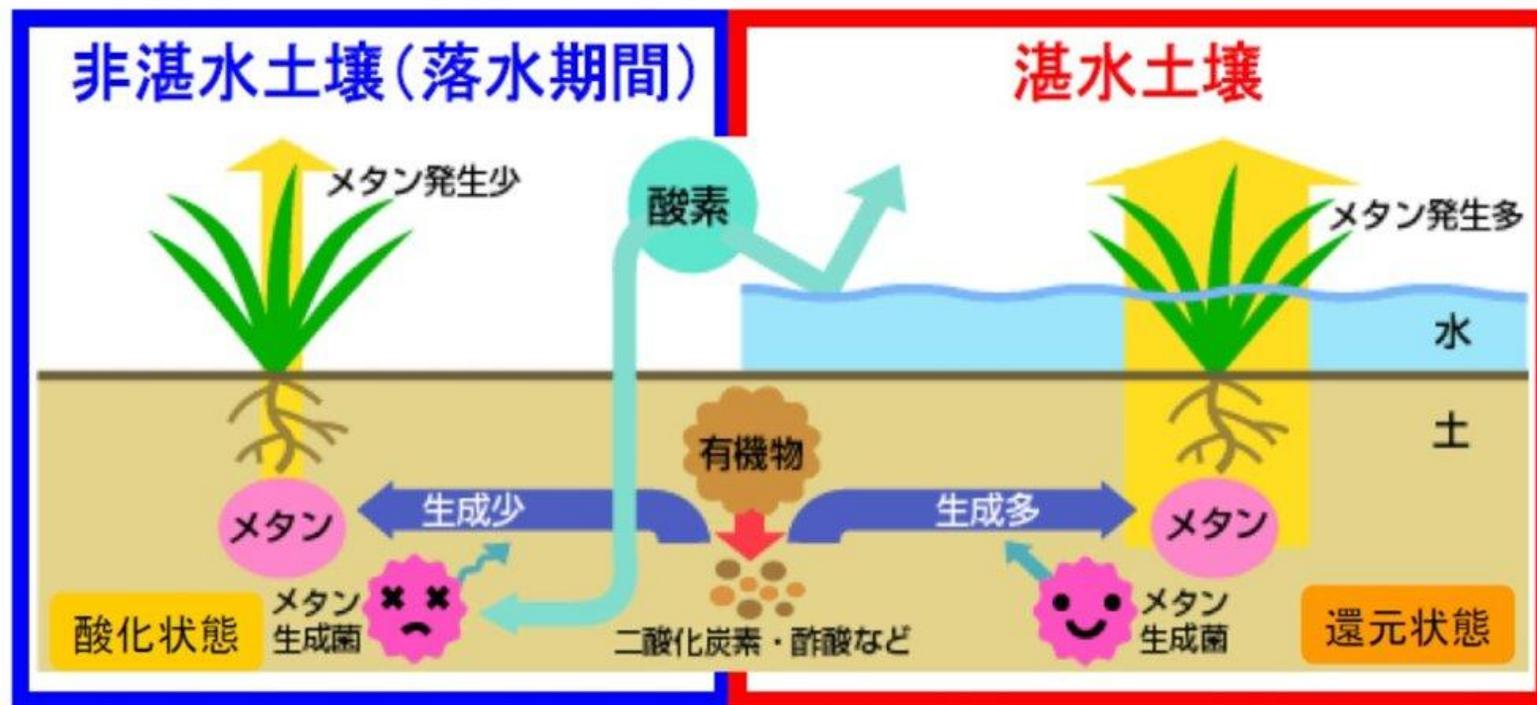
牛の
ゲップ

※メイン

水田を活用したカーボンクレジット創出

水田の中干し期間延長によるクレジット創出 (J-クレジット)

水田



(図の出典：つくばリサーチギャラリー)

中四国エリアの水田ポテンシャル

削減量

139,800t-CO₂~
276,200t-CO₂

- ・1haあたり1t-CO₂~4.1t-CO₂削減
 - ・中四国エリア水田面積: 139,800ha
 - ・CO₂削減量: 139,800t-CO₂~276,200t-CO₂
 - ・市場価値: 約7億~約13.8億円
- ※5000円/t-CO₂で試算

バイオ炭を活用したカーボンクレジット創出

北海道では既に、融雪剤として籾殻からできたバイオ炭を活用（J-クレジット）

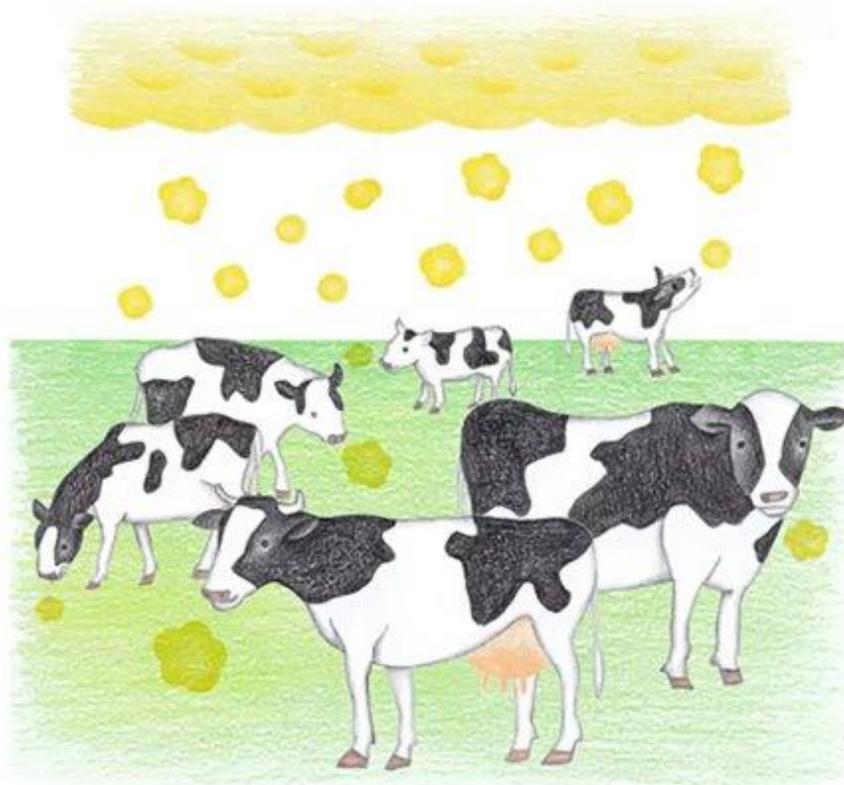
バイオ
炭



牛のゲップを活用したカーボンクレジット創出

牛のゲップを削減することでメタンガス削減に繋がる(2月から実証実験予定)

牛の
ゲップ



「Agreen(アグリーン)」による効果

- クレジット売買による副収入を獲得と収入増加

水田/畑作/酪農農家で創出したカーボンクレジットの生成と収入の分配

- 周辺地域の脱炭素化

GHG排出量削減による、地域の脱炭素化に寄与。

- 中四国全域の地方創生

農家の収入源増による、農家のなり手の増加、地方創生への寄与

- 環境配慮(CN)米・牛としてブランディングが可能に

環境に配慮したお米・牛肉であることを証明するロゴを作成し、ブランド米として販売可能に。